

交換留学（派遣）帰国報告書

.....

留学先大学 : パリ西ナンテール・ラデフォンス大学（パリ第10）
留学先での所属学部・研究科 : 社会学部
留学先での在籍身分 : 学部生
留学期間 : 2016年 9月～2017年 5月
神戸大学での所属学部・研究科 : 国際文化学部
学年（出発時） : 3年
本報告書記入日 : 2017年 6月 19日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日 : 9月 6日

学年終了月日 : 5月 16日

学期 :

① 9月 6日～1月 15日

② 1月 16日～5月 16日

③ ____月 ____日～____月 ____日

④ ____月 ____日～____月 ____日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

総合大学で、様々な学部学科があり、留学生はどの学部の授業も基本的に受講することができる。特に芸術系や哲学等が人気。

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート :

前期は無料でフランス語の語学の授業を3コマまで受けることができる。後期は有料になってしまうが、希望すれば受講可能。

勉学面でのサポート :

ほとんどの授業が留学生にも開かれている。先生によっては留学生であるということで、課題の配慮をしてくださる。しかし特にチューター制度は存在しない。

精神面でのサポート :

住居・生活面でのサポート：

寮に入ることができる。シャワー、キッチン等全てそれぞれの部屋にあり、とても快適。

課外活動のサポート：

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい

いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気をつけること等)

快適な部屋ではあるが、食器等も含めほとんど何もないで、最初に全部購入することになるので、意外とお金がかかった。また、希望すればフランス政府から住宅補助が出るが、基本的に事務がスローペースなので、早め早めに準備を進めていったほうがいい。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

学研災付海外留学保険（「付帯海学」）（神戸大学指定の保険）

また、上記以外で加入した保険があれば、ご記入ください。（留学先の国・大学が義務付けている保険等）

学研災付海外留学保険（「付帯海学」）（神戸大学指定の保険）

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況：日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否：接続できた 接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

家賃に含まれている。

大学でのPCの使用の可否：使用できた 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

図書室に数台あったが、日本語キーボードの設定はない。（あったのかもしれないが分からなかった）

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

寮の近くに大きな病院がある上、パリ内は日本人の病院もいくつかあるらしいので、それらを利用すれば良いと思う。冬が日本より寒いくらいで他に特に気をつけることはない。

3-4. 銀行口座等について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。
(現地で口座開設、キャッシュパスポート利用等)

住宅補助や寮の関係で現地の口座も開設したが、基本的にキャッシュパスポートと日本のクレジットカードを利用していた。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

日常生活で本当にいろいろな人種やバックグラウンドの人と関わる。生活をしているだけで、移民や難民がとても多いことが分かるし、学生の人種、文化等も様々で面白い。習慣などの大きな違いを感じたり、それで困ったりすることはなかった。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

大学に日本語学科がなく、授業以外で学生と関わる機会が少なかったため、日本語学科のある他大学の活動に参加したり、言語交換に行ったりしていた。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

していない。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

寮の近くは住宅街であり、非常に落ち着いていて住みやすかった。安全性も特に問題はなかったと思う。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

情報収集のみ。

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

(財団等名) JASSO _____, 80,000 円／月
その他（渡航費等の支給）月5万(要返却) _____ 円

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

アンスティチュフランセが留学を予定している人向けに行っている留学準備講座もらった資料が非常に役立った。あとは、アンスティチュのホームページや個人のブログ等も参考にした。

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

電子辞書だけでなく、紙の辞書も持って行くべき。テストで紙辞書なら持ち込み可な場合が多い。

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：() 点 → 帰国後：() 点

まだ帰国後にスコアの出るテストを受験していないので明確な成長はわからないが、現地の学生に混ざってフランス語の授業を受講する中で、語学力は向上した。また、様々な人の考え方触れ、サークルやバイトがない中でじっくり自分と向き合うことができたことで、自分の将来について考えることができた。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

特に大きなトラブルはなかった、最初の頃は、現地の学生と関わる機会もなく、友達が多くなかったため悩むこともあったが、自分からいろいろな場に飛び込んでいくことで徐々に改善されていった。強いて言うなら、事務手続きの遅さに戸惑うことが多々あった。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

特になし。留学先からメールをしてもすぐに返信が返ってくるため、非常に助かった。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦める。これから先いくらでも海外に行くことはできるかもしれないが、学生として、特に交換留学生として行けるのは今しかないから。現地でワーキングホリデー等で来ている人にも多々お会いしたが、交換留学生でないと現地の専門の授業は取ることができないし、学生の方が良い意味でたくさん失敗ができると感じた。また学生だからこそ参加できる交流会等も多くあった。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 3
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 2
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 5
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 3
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 5
- ・留学全体の総合的な評価： 4

留学先大学：パリ西ナンテール・ラデフォンス大学（パリ第10）

留学先での所属学部・研究科：社会学部

留学先での在籍身分：学部生

留学期間：2016年9月～2017年5月

神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部

学年（出発時）：3年

本報告書記入日：2017年6月19日

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

| No. | コース名 (現地語・和訳) | 教授名 | 時間数 ／週 | 留学先 での単 位数 | 履修し ている 学生数 | 予習、復習、テスト等についてアドバイスも含 めて教えてください。 |
|-----|---|----------------------|-----------|------------------|-------------------|---|
| 1 | ecrit3(ライ ティング) | crementation raux | 2h | 3 | 30 | 計3回の小テストと期末テストで成績 がつく。 |
| 2 | oral3(オーラ ル) | crementation raux | 2h | 3 | 30 | 成績評価は上と同じ。この2つの授業は授業名が同じ でも先生によって内容も評価も全く異なっていた。 |
| 3 | civilisation(フ ランスの歴史) | Louys Gilles | 2h | 3 | 30 | 予習が必要なわけではないが、事前に扱 う出来事について知っておくと面白い。 |
| 4 | Ethnobiologie des societes d'afrique(ア フリカ社会の人類学) | Eric | 2h | 3 | 20 | 授業内の発表とレポートのみ。 |
| 5 | vie culturelle(文 化芸術) | Sylvie Le Page | 2h | 3 | 30 | 教室で行う週と、実際に皆で文化施設 等に訪問する週とがあった。 |
| 6 | francophonie(仏語圏 の状況、社会言語学) | Christine Pauleau | 1.5h | 1.5 | 20 | 毎回復習はしっかり行っていた。テス トは論述1題。 |
| 7 | stratification sociale(格差社会) | Yagos Koliopanos | 4h | 4.5 | 100 | 毎回文献があり、それを事前に読む。授業で生徒が発言す ることはあまりなかったが、何度か文献の要約を提出し た。 |
| 8 | sociologie urbaine(都市社会学) | Ines Ebilitigue | 4h | 4.5 | 100 | 毎回文献を読んだ上で質疑やディス カッション。 |
| 9 | | | | | | |
| 10 | | | | | | |

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

専門科目の多くが大講義とゼミがセットになっており、より理解が深まるようなカリキュラムになっ
ていた。この仕組みは専門科目を学習する上でとても良いと感じた。フランス語で授業を行い、テストを
受けるのは大変ではあったが、課題などをだして毎回出席していれば、単位はくれるように感じた。現
地の学生は温度差がすごい。熱心な子は本当に熱心だが、授業に来ない子や大講義でずっとしゃべって
いる子もいる。この差は神戸の国文よりもずっと大きい気がして、最初の頃はすごく気になった。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃：150,000

・住居費：(月額) 35,000 × (留学月数) 9 ヶ月 = 315,000

・食費：(月額) 35,000 × (留学月数) 9 ヶ月 = 315,000

・保険料：100,000

・その他：旅行費等

合計：1,200,000 (留学期間全体の費用)

その他　自由に記入してください。（800字～）